

謹啓

初秋の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

「第11回和歌山糖尿病地域連携研究会」を下記の要領で開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

ご存知のように、糖尿病による血管合併症は患者さんのQOLを著しく低下させるとともに医療経済的にも大きな負担を社会に強いていることから、現在、わが国では糖尿病対策が国の重要課題の一つとなっています。現在、我が国の糖尿病有病者数は約1000万人と推計されており、適切な医療を提供する上において病診連携の必要性が益々高まっています。今回の研究会では、かかりつけ医の先生方からご要望の多い「日々の糖尿病診療におけるポイント」に関して、実践セミナーを企画いたしました。さらに、彦根市民病院副院長の矢野秀樹先生に実践的な糖尿病診療に関する特別講演をお願いしています。また、近年、就労者において仕事と糖尿病治療の両立に対する支援が益々重要になってきていることから、『糖尿病の治療・就労支援を考えるーそれぞれの現場からー』のテーマでのシンポジウムを企画いたしました。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますがご参加を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2019年9月吉日

和歌山糖尿病地域連携研究会代表世話人
和歌山ろうさい病院 南條輝志男

-----プログラム-----

【情報提供】15:10～15:25

田辺三菱製薬株式会社

【閉会の挨拶】15:25～15:30

和歌山県立医科大学内科学第一講座教授 赤水尚史先生

【糖尿病診療実践セミナー】15:30～16:30

『糖尿病診療のポイント』

座長： 公立那賀病院 近藤 溪先生

1. インスリン注射と自己血糖測定 (SMBG)

和歌山県立医科大学附属病院糖尿病認定看護師 山本美子先生

2. 糖尿病性腎症の療養指導

橋本市民病院糖尿病認定看護師 金本純子先生

3. 肥満の外科治療

和歌山県立医科大学内科学第一講座助教 松谷紀彦先生

【特別講演】16:30～17:30

座長：和歌山ろうさい病院病院長 南條輝志男先生

『糖尿病性腎臓病を進展させないために』

彦根市民病院 副院長 矢野秀樹先生

【コーヒーブレイク】17:30～17:40

【シンポジウム】17:40～18:40

『糖尿病の治療・就労支援を考えるーそれぞれの現場からー』

座長： 日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病・内分泌内科部長 井上 元先生

座長： 和歌山県立医科大学内科学第一講座准教授 古田浩人先生

17:10～18:10

1. (Over view) 糖尿病の治療・就労支援

和歌山ろうさい病院内科部長 中 啓吾先生

2. 協会けんぽの取り組み

全国健康保険協会和歌山支部 保健師 青木美恵先生

3. 和歌山市・海南地域産業保健センターの取り組み 総括コーディネーター 浅井末巳先生

4. 企業保険師の立場から JXTG エネルギー (株) 和歌山製油所総務グループ

保健師 井口めぐみ先生

5. 就労状況に応じた栄養指導のポイント 和歌山労災病院 栄養管理室

管理栄養士 中谷紘子先生

6. 糖尿病の治療・就労支援～薬剤師の立場から～和歌山県薬剤師会常務理事 古川晴浩先生

18:10～18:40

総合討論

【閉会の挨拶】18:40～18:45

和歌山県医師会内科医会会長 西谷 博先生

*研究会終了後、糖尿病地域連携に関する情報交換会をご用意しております